

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は13百万円（前年同期は1,736百万円の使用）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が238百万円、減価償却費の計上が132百万円、のれん償却額の計上が92百万円あったものの、関係会社株式売却益の計上が197百万円、営業貸付金の増加額が93百万円、未払金の増加額が113百万円、法人税等の支払額が355百万円あったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は1,924百万円（前年同期は1,519百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が243百万円、投資有価証券の取得による支出が66百万円あったものの、貸付金の回収による収入が1,688百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入が559百万円あったこと等によるものであります。

【訂正後】

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は13百万円（前年同期は1,763百万円の使用）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が238百万円、減価償却費の計上が132百万円、のれん償却額の計上が92百万円あったものの、関係会社株式売却益の計上が197百万円、営業貸付金の増加額が93百万円、未払金の増加額が113百万円、法人税等の支払額が355百万円あったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は1,924百万円（前年同期は1,492百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が243百万円、投資有価証券の取得による支出が66百万円あったものの、貸付金の回収による収入が1,688百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入が559百万円あったこと等によるものであります。

（添付資料＜10ページ＞）

3. 連結財務諸表及び主な注記

（4）連結キャッシュ・フロー計算書

【訂正前】

（単位：千円）

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
（中略）		
その他	<u>△327,508</u>	265,546
小計	<u>△1,587,621</u>	487,744
利息及び配当金の受取額	636	2,642
利息の支払額	△20,264	△68,781
助成金の受取額	3,293	2,792
保険金の受取額	1,442	—
役員退職慰労金の支払額	—	△84,000
法人税等の支払額	△160,255	△355,133
法人税等の還付額	26,642	1,234
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>△1,736,126</u>	△13,501

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年10月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月 1 日 至 2025年 9 月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
(中略)		
事業譲受による支出	<u>△26,918</u>	△20,767
出資金の払込による支出	—	△4,020
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△710,823	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	559,484
敷金の差入による支出	△21,059	△10,869
敷金の回収による収入	45,055	38,331
その他	13,333	△32
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△1,519,846</u>	1,924,713

【訂正後】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年10月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月 1 日 至 2025年 9 月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
(中略)		
その他	<u>△354,426</u>	265,546
小計	<u>△1,614,539</u>	487,744
利息及び配当金の受取額	636	2,642
利息の支払額	△20,264	△68,781
助成金の受取額	3,293	2,792
保険金の受取額	1,442	—
役員退職慰労金の支払額	—	△84,000
法人税等の支払額	△160,255	△355,133
法人税等の還付額	26,642	1,234
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>△1,763,045</u>	△13,501

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年10月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月 1 日 至 2025年 9 月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
(中略)		
事業譲受による支出	<u>—</u>	△20,767
出資金の払込による支出	—	△4,020
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△710,823	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	559,484
敷金の差入による支出	△21,059	△10,869
敷金の回収による収入	45,055	38,331
その他	13,333	△32
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△1,492,928</u>	1,924,713

(添付資料<13ページ>)

(表示方法の変更)

【訂正前】

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前連結会計年度において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「棚卸資産の増減額(△は増加)」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記する

こととしております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の組替を行っております。この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた△340,506千円は、「棚卸資産の増減額（△は増加）」△12,997千円と「その他」△327,508千円として組み替えております。

また、前連結会計年度において、独立掲記しておりました「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「シンジケートローン手数料」及び「財務活動によるキャッシュ・フロー」の「シンジケートローン手数料による支出」は、金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度より「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」及び「財務活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替を行っております。この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「シンジケートローン手数料」に表示していた3,011千円は、「その他」△327,508千円に、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の「シンジケートローン手数料による支出」に表示していた△2,200千円は、「その他」△6,201千円として組み替えております。

【訂正後】

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前連結会計年度において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「棚卸資産の増減額（△は増加）」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の組替を行っております。この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた△370,435千円は、「棚卸資産の増減額（△は増加）」△12,997千円と「その他」△354,426千円として組み替えております。

また、前連結会計年度において、独立掲記しておりました「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「シンジケートローン手数料」及び「財務活動によるキャッシュ・フロー」の「シンジケートローン手数料による支出」は、金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度より「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」及び「財務活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替を行っております。この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「シンジケートローン手数料」に表示していた3,011千円は、「その他」△354,426千円に、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の「シンジケートローン手数料による支出」に表示していた△2,200千円は、「その他」△6,201千円として組み替えております。

以 上